

漁業後継者育成研修事業

小笠原大郎・伊藤良博

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し、漁業後継者も不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修(通称「賓陽塾」)を実施し、優れた漁業後継者を確保・育成する。

研修結果

1. 漁業基礎研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基本的な漁業技術・知識習得のため基礎研修を実施した。

(1) 研修期間

平成 27 年 6 月 1 日～同年 7 月 31 日

(2) 受講生

受講生数は 8 名であり、出身地内訳は青森市 1 名、平内町 3 名、野辺地町 2 名、むつ市 2 名であった。

(3) 研修内容

- ・水産知識 水産に関する基礎知識、漁業関係法令・制度など(表 1)
- ・漁業技術 ロープワーク、さし網・簗・釣り漁業など(表 2)
- ・視察研修 県内の水産関連施設(表 3)

2. 現地研修

現地研修は、受講生のうち希望者を対象に、現地漁業実習(定置網、イカ釣り、ホタテ貝養殖など)及び水産加工実習(水産物の加工、漁獲物の鮮度保持)を行うものだが、希望者が無かったため実施しなかった。

3. 資格取得講習

受講生のうち希望者を対象に、漁業へ就業する上で必要な一級・二級小型船舶操縦士、第三級海上特殊無線技士及び潜水士の資格取得のため、これらに係る講習を行った(表 4)。

4. 出前講座

出前講座は、漁業団体等を対象に、漁業技術等のレベルアップを図るため、現地において行う制度だが、今年度は、希望がなかったため実施しなかった。

表 1 水産知識

月 日	内 容	講師 所属・氏名
6月2日	水産総合研究所の概要	水産総合研究所 佐藤企画経営監
6月8日	ホタテガイ天然採苗技術について	〃 吉田ほたて貝部長
6月15日	簿記・漁業経営	青森県農林水産政策課農業普及改良グループ 若宮主幹
6月22日	漁業制度の概要	青森県農林水産部水産局水産振興課 中田グループマネージャー
〃	栽培漁業・資源管理について	〃 〃 田村サブマネージャー
6月29日	漁獲物の鮮度保持	下北ブランド研究所 佐藤研究員
7月6日	海上航行のルール	水産総合研究所 小笠原二等航海士

表 2 漁業技術

月 日	内 容	
	ロープワーク	沿岸漁業実習
6月2日～6月30日	端止め、基本的な結び方、石・玉からめ、三よりロープの接合、クロスロープの接合	漁具作製、かご・さし網・釣り漁業
7月1日～7月30日	クロスロープの接合、サザンクロスロープの接合漁網補修技術、ワイヤーロープの接合、結索標本作製	かご・さし網・釣り漁業、試験船「なつどまり」乗船実習

表 3 視察研修

月 日	視察先
6月19日	公益社団法人青森県栽培漁業振興協会、八食センター、試験船「開運丸」

表 4 資格取得講習

資 格	開講期間	開催場所	受講者数	合格者数	備 考
一級・二級小型船舶操縦士	8月18日～8月21日	水産総合研究所	二級 4	二級 4	
潜水士	9月10日～9月12日	ゆーさ浅虫	3	2	希望者を県内開催の講習へ幹旋
第三級海上特殊無線技士	10月25日	八戸水産会館	3	3	〃

漁業基礎研修実施状況



水産知識（簿記・漁業経営）



ロープワーク（三打ちロープさつま加工）



かご漁業実習



視察研修（青森県栽培漁業振興協会）

資格取得講習実施状況



小型船舶操縦士学科講習



小型船舶操縦士学実技教習